

子どもや女性を守るための相談窓口

11月は児童虐待防止月間

その手が子どもの命綱

児童虐待は、子どもの心身の発育、発達に深刻な影響を与え、時には子どもの生命さえ奪う著しい人権侵害であり、社会全体で早急に解決すべき重要な課題です。

わたしたちは、児童虐待を防止し、一人ひとりの子どもがかけがえない存在として、安全で安心して自分らしく育っていくことができるよう、取り組みを進める必要があります。

【子どもを虐待から守る5カ条】

1. 「おかしい」と感じたら迷わず連絡(通告)
2. 「しつけのつもり…」は言い訳
3. ひとりで抱え込まない
4. 親の立場より子どもの立場
5. 虐待はあなたの周りでも起こりうる

児童虐待の早期発見には、地域の力が大切です。「もしかして…」と思ったら左記へご相談ください(通告した人の秘密は守られます)。

【通告・相談窓口】

- ▼児童相談所全国共通ダイヤル (☎0570-064100)
- ▼千葉県中央児童相談所 (☎043-253-4101)
- ※印西市を管轄する児童相談所
- ▼市家庭児童相談室 (☎5180)

子育て支援課子育て支援班 (☎内線244)。

全国一斉「女性の人権ホットライン」強化週間

夫・パートナーからの暴力やストーカーなどの女性をめぐる各種の人権問題について、全国一斉に人権擁護委員が「女性の人権ホットライン」を通じて、相談に応じることになりました。11月18日(月)～22日(金)・午前8時30分～午後7時、11月23日(土)～24日(日)・午前10時～午後5時。

千葉県人権擁護委員連合会女性人権擁護委員・千葉地方事務局人権擁護課職員が相談に応じます。

女性に対する暴力をなくす運動

毎年11月12日～25日は「女性に対する暴力をなくす運動」期間です。夫やパートナーからの暴力、性犯罪、売買春、セクシュアル・ハラスメント、ストーカー行為などは、女性の人権を著しく侵害するものであり、決して許されるものではありません。また、男女共同参画社会を形成していく上で克服すべき重要な課題でもあります。市では毎月第1、第3木曜日



▲女性に対する暴力根絶のためのシンボルマーク

に、専門の女性カウンセラーによる「女性の悩み相談」を実施しています(本紙1ページ、13ページ参照)。

また、DV被害者が緊急に避難する際の金銭的支援も行っています(要相談)。

千葉県で各種相談窓口を設けていますので、一人で悩まず、ご相談ください。

※DV:ドメスティックバイオレンスの略。配偶者や元夫婦や恋人など近親者間で起る暴力のこと。

【県の相談窓口】

- ▼女性サポートセンター (☎043-206-8002 (年中無休24時間電話相談可))
 - ▼千葉県男女共同参画センター (☎04-7140-8605)
 - ▼印旛健康福祉センター (☎043-483-0711・DVのみ)
 - ▼千葉県男女共同参画センター (☎043-285-0231)
- ※相談方法、日時などの詳細は、各機関でご確認ください。
子育て支援課子育て支援班 (☎内線246)。

「振り込め詐欺」が多発しています

ちょっとまって! その電話は大丈夫!?

印西警察署管内で、振り込め詐欺が多発しており、今年は14件、約5千8百万円の被害が発生しています。

▼ケース①息子や孫を装う「オレオレ詐欺」

「風邪で声が変わんだ」「電話番号が変わったので、登録しておいて」と電話の後、「会社のお金が入ったバックを電車内に置き忘れた」「友だちの借金の保証人になっていて支払わなければならぬ」

このように、お金が急に必要になったと告げて、振り込みを依頼したり、「知人(バイク便など)に取りに行かせるから渡し」などと現金の手渡しを指示します。

まず「事実かどうか確認すること」です。緊急時の連絡先として、本人の携帯電話番号や勤務先の電話番号、友人の連絡先などを把握しておき、いつでも確実に連絡が取れるようにしておきましょう。電話が繋がらない

◆対処方法

これは市内で実際に起きた事例です。犯人はあなたかも税金などを還付するなどの手続きであるかのように装って、ATMへ誘導します。誘導後、携帯電話でATMの操作を指示して、自己の口座から犯人の口座へ現金を振り込ませようとしています。

「お金」「カード」「ATM」の話が出たら、詐欺の疑いがあります。迷わず相談してください。銀行を装う「劇場型詐欺」にも注意!

▼ケース②「還付金詐欺」

保健センター職員を名乗る人物から「医療費の返金手続き書類が届いていないので、〇〇番号へ電話して、返還手続きをして欲しい」との電話があり、指定された電話番号にかけた。

対応した男性に「返金は本人確認が必要なのでATM(現金自動預払い機)を利用して本人確認する」と言われ、ATM前で再び電話、指示されるままに操作し現金を、振り込んでしまった。

このように、言葉巧みに通帳とキャッシュカードを受け取りに来ます。さらに、手続きをスムーズに行うためになどと言って、キャッシュカードの暗証番号を聞き出します。複数の人間で役を演じ分ける「劇場型」という詐欺も存在します。

「事実かどうか確認すること」が大切なのは、ケース①と同様です。また、警察や銀行がキャッシュカードを預かりに行くことはありません。

◆対処方法

印西警察署生活安全課 (☎0110)。

教育委員会委員に寺田充良氏を任命

委員長には佐藤めぐみ氏を再任

市では、9月市議会定例会の同意を受けて、10月1日付で教育委員会委員に寺田充良氏(大森)を任命しました。

寺田氏は、日本大学商学部を卒業後、食品小売業に従事するかたわら、大森小学校PTA会長、印西中学校同窓会会長を務め、長年にわたり、地域の青少年の健全育成に貢献されています。

また、印西市教育委員会では、10月1日に現委員の佐藤めぐみ氏、大野忠寄氏、青山光男氏及び大木弘教育長と寺田氏の5人により教育委員会定例会を開催。委員長に佐藤氏を再任するとともに、委員長職務代理者に大野氏を選任しました。

なお、この度退任された今野紀子氏には、任期の4年間、市の教育行政に多大なるご尽力をいただきました。



▲寺田充良氏



11/10 (日)
柏レイソル
「印西ホームタウンデー」

市では、J1リーグで日々奮闘している柏レイソルを、ホームタウンとして応援しています。

今年も「印西ホームタウンデー」に、柏レイソル対サンフレッチェ広島戦が行われますので、ぜひ応援してください。

時 11月10日(日)・午後1時キックオフ。
場 日立柏サッカー場 (柏市日立台1-2-50)。
開 (株)日立柏レイソル事業統括部・☎04-7167-0717・火～金曜日・午前10時～午後5時のみ)、企画政策課企画政策班 (☎内線472)。